

農産物物流の地域連携促進プロジェクト

協議会名:みやざき農の物流DX推進協議会ワーキングチーム

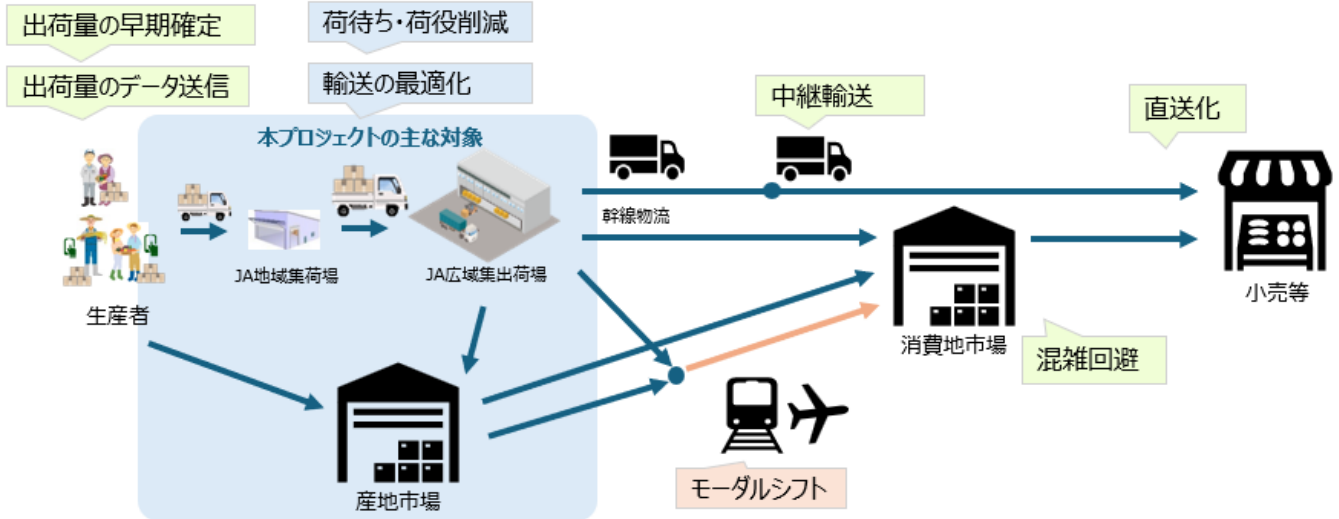
協議会構成員
宮崎県(幹事)、宮崎県農業協同組合、株式会社JA物流みやざき

- 【事業実施背景】
- 深刻なドライバー不足と労働時間規制により、本県農産物の安定輸送が困難
 - 県下JAの経営統合を契機に、荷主・運送業者の垣根を越えた連携を強化し、物流全体のリソースの最適化を図ることが不可欠
 - 運送の需給情報をデジタルで可視化し、地域全体で荷物を融通し合う「持続可能な物流ネットワーク」の構築が必要

事業内容

Point


- ① 現行の輸送ルート・積載内容を可視化し、積合せ拠点間の輸送時間・荷役等時間の把握を効率的に行うシステムの検証と利用実証
- ② 荷主・運送業者のネットワークの構築と、運送委託先・台数を最適化するツールの調査・検討
- ③ パレット導入の効果を最大化できる時期・ルート・品目などを検討し、パレット化に必要な機器の導入や規格の見直し、輸送資材開発を実施



想定事業実施効果

- 【成果目標】
荷落ちゼロ
- 【目指す姿】
トラック積載率向上と荷待ち・荷役時間の削減を図り、農産物の安定的かつ効率的な出荷を目指す。